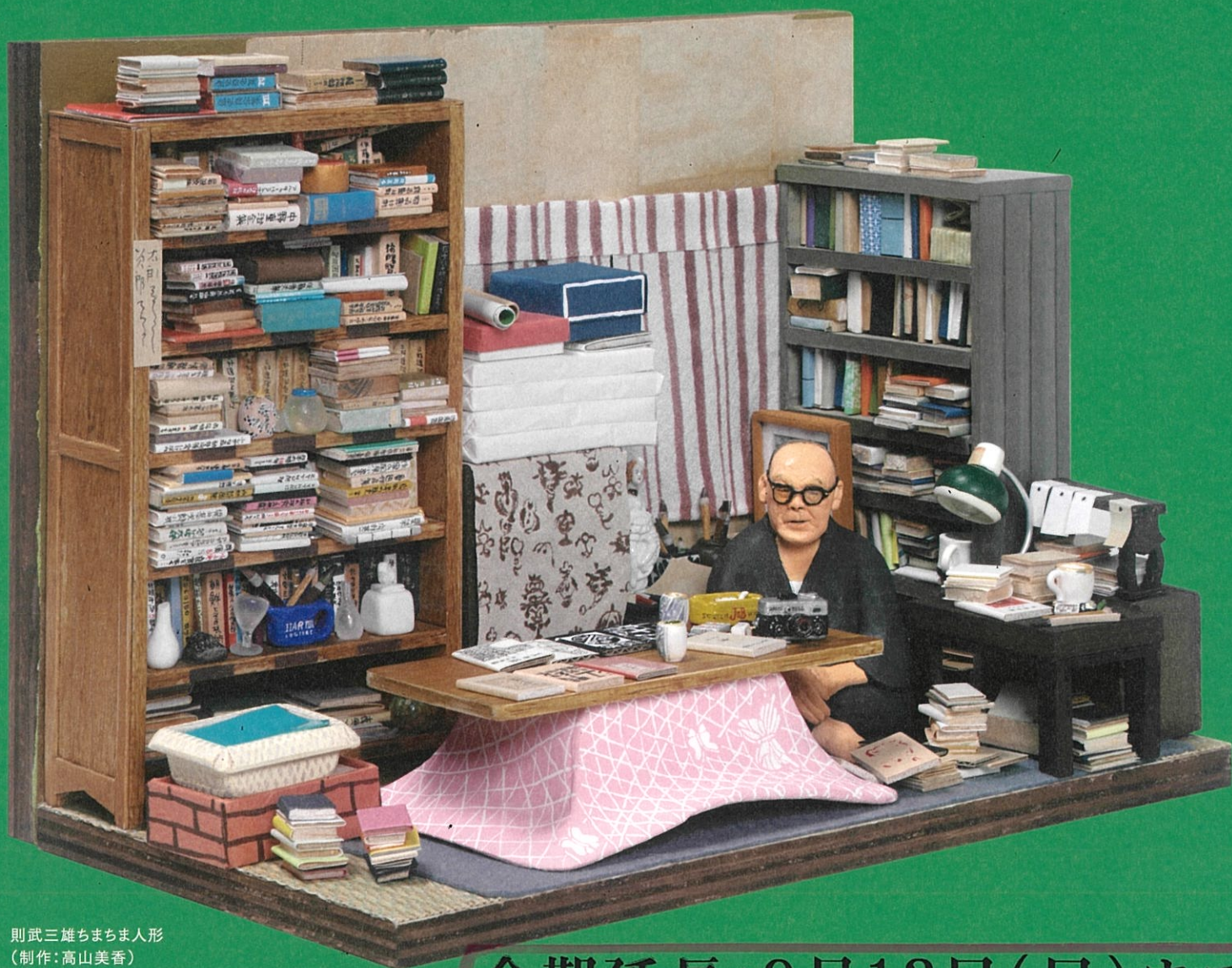


福井県ふるさと文学館コレクション展

没後
30年

則武三雄展

福井に文学の種をまいた詩人



則武三雄ちまちな人形
(制作:高山美香)

会期延長:9月13日(日)まで

2020年4月25日[土]

~6月14日[日]

観覧
無料



福井県
FUKUI MUSEUM OF
LITERATURE
ふるさと文学館

[開館時間] 火~金曜日 9:00~19:00、土・日・祝日 9:00~18:00

[休館日] 4月27日(月)、4月30日(木)、5月7日(木)、5月28日(木)、5月11日(月)以降の月曜日

[主催] 福井県ふるさと文学館

没後
30年

則武三雄展

福井に文学の種をまいた詩人

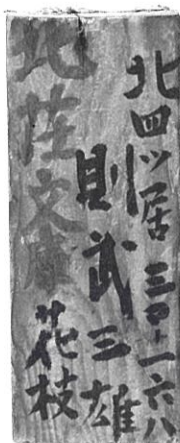
則武三雄は福井の文学に大きな影響を与えた詩人で、今年、没後30年を迎えます。則武三雄は終戦後、三好達治の誘いを受け三国へ移住しました。その後、『紙の本』『葱』などの詩集を発表し、独自の出版活動を行いながら、広部英一、岡崎純、南信雄、川上明日夫、荒川洋治など多くの詩人に影響を与えました。今も、その魅力ある人柄と作品は愛され続けています。

当館は則武の原稿や愛用品など約1800点の貴重資料を則武文庫として所蔵しています。本展では、則武三雄の作品世界や文人との交流、出版活動などを、多彩なコレクションを交えて紹介します。

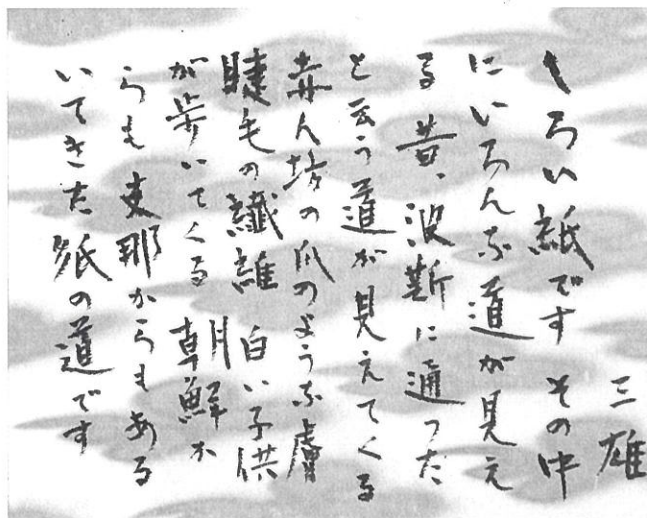
撮影：水谷内健次



則武三雄 愛用品

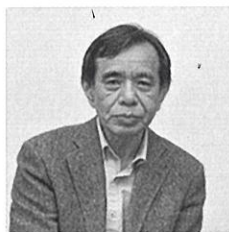


則武三雄 北荘文庫表紙



則武三雄 書「ひとりの子供が歩いている」

関連イベント



撮影：水谷内健次

講演 「則武三雄の詩と世界」

則武三雄は、日本の詩・散文界、新しい境地をひらいた。福井の文化・芸術の発展にも、大きな役割を果たした。その人柄と、著作の魅力を語る。

日時：2020年5月16日(土) 14:00～15:40

講師：荒川洋治氏(現代詩作家)

会場：県立図書館多目的ホール

定員：150名

要申込

参加費
無料

クイズラリー開催!!

展示室にあるクイズを解いて、オリジナルグッズをゲットしよう!
会期中、文学館カウンターで受付!

ギャラリートーク

学芸員が約20分
みどころを紹介します!

4月25日(土) 14:00～

5月16日(土) 13:00～

6月14日(日) 14:00～



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE

ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町 51-11
TEL 0776-33-8866 FAX 0776-33-8861
E-mail bungakukan@pref.fukui.lg.jp
HP <http://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/>



アクセス

フレンドリーバス(無料) ●JR福井駅東口バスターミナルから約15分
路線バス ●JR福井駅西口交通広場5番のりばから市内バス(62系統・一乗谷東郷行き)約12分
自動車 ●北陸自動車道福井インターより約15分 国道8号線板垣交差点を東に折れ約900m

荒川洋治氏
講演

(フリガナ)
ご氏名：
電話番号：